

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)		
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)			
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③現場内改良分 小数点第三位まで	減量化 コード*11 小数点第三位まで	③減量化量 小数点第三位まで	搬出先1			搬出先2	住所コード*4		運搬距離 千 百 十	km			トン	トン
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	建設汚泥	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	金属くず	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	廃石膏ボード	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	紙くず	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
建設発生土	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%
	第一種 建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	第二種 建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	第三種 建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	第四種 建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%
	合計	0.000	地山m ³	0.000	0.000	地山m ³							0.000	地山m ³	0.000	0	地山m ³	0

コード*10 1.路盤材 2.裏込材 3.埋戻し材 4.その他	コード*11 1.焼却 2.脱水 3.天日乾燥 4.その他	コード*12 施工条件について 1.A指定処分 (発注時に指定されたもの) 2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、 発注後に設計変更し指定処分とされたもの) 3.自由処分	コード*13 【建設廃棄物の場合】 1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度による処理 4.中間処理施設(アスファルト合材プラント) 5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 6.中間処理施設(サーマルリサイクル) 7.中間処理施設(単焼却)	8.廃棄物最終処分場(海面処分場) 9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)	【建設発生土の場合】 1.売却 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.土質改良プラント 5.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がある場合)	6.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がない場合) 7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業 8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入) 9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入) 10.土捨場・残土処分場
--	--	---	--	--	---	--

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。
土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降をご利用ください

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)				
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先住所		住所コード*4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量 小数点第三位まで		⑤再生資源利用促進量 小数点第三位まで			
場外搬出時の性状	用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量化コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	搬出先1	搬出先2			搬出先1	搬出先2				搬出先1	搬出先2		トン	トン	トン
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど未製材材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	建設汚泥	0.000	トン	トン	トン	搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	金属くず	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	廃石膏ボード	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	紙くず	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%	
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン			搬出先1	搬出先2					km		トン	トン	0	トン	0	%		
建設発生土	第一種建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	第二種建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	第三種建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	第四種建設発生土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	0	%	
	合計	0.000	地山m ³	0.000	0.000									0.000	地山m ³	0.000	0	地山m ³	0	%

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記)
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。